

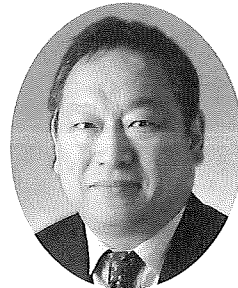


発行所
愛媛県立今治南高等学校
越南会
印刷所 (株)原田印刷社

越南会だより

第七号の発刊にあたり

越南会会長 山本 敏明 (南31回卒)



越南会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から母校並びに越南会の運営と活動に對しまして格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本校は、来年の秋に創立百周年を迎えます。百周年に向けて、昨年期成会を立ち上げ準備を進めています。先人たちが血と汗のじむ努力をし、『地域に教育の充実で、郷土の発展を担う人材を育てる』と掲げた本校創立の原点を今一度顕彰し、その熱き思いを未来に繋げてまいりたいと考えております。百周年行事の詳細については、秋頃にはお知らせをする予定です。その節にはご協力の程、宜し

くお願い致します。

さて、三月には百四十二名の卒業生が自分の進む「十字星」に向けて大きく羽ばたき、新たに越南会の一員に加わりました。また、四月には百八十五名の新入生を迎えました。少子化の影響で、高校再編といった激変の時代を迎えています。以上、現役生徒が夢と希望を胸に抱き、充実した高校生活を送れるよう応援し、将来を見据え地域に貢献できる道筋を探りながら、皆様と手を携え邁進していきたいと思っております。

さらに人口減少の影響で、一段と厳しい学校運営が待ち受けています。私たちの母校、今治南高校が他校にない魅力ある学校となり、未永く存続するよう今後もなお一層、会員の皆様からの声をお寄せいただくと共に、倍旧のご支援・ご協力をお願いいたします。発刊のご挨拶とさせていただきます。

創立百周年と

魅力ある学校に向けて

校長 松野 勝利



越南会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に對し、多大なるご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

はじめに、「嬉しかった」二つのことを紹介します。

先般、大学四年生になる卒業生三名が本校で教育実習に挑み、実習生は「教員になる」という強い意志を持ち、懸命に頑張りました。そのひた向きに努力する姿からは、校訓「鍛」のもと先輩方が築き上げてきた伝統が垣間見え、嬉しく思うと同時に、あらためて、本校の伝統を受け継ぎ、そして伝えていける生徒を全力で育成すると決意したところであります。

もう一つは、本校から

一四八名の生徒が愛媛県高等学校総合体育大会に出場したこと。昨年から三九名増え、全校生徒の約四分の一が出場するとあって、学校は活気づき、本当に嬉しく思いました。

一方で、本校を取り巻く環境は変化し、大きな課題が生じています。県内の学校の多くは、少子化により生徒数の減少が厳しく、本校においても、現在、全校生徒五五一名と定員(七二〇名)に満たない状況にあります。特に、一年生の普通科において、本来であれば五クラスになるところが、入学者数が定員を大幅に下回ったことで、四クラスに編成せざるを得ない状況となりました。今後、生徒数を確保できる「学校の魅力化」が大きな課題と言えます。学校では、教科指導や進路指導の充実はもちろん、部活動の活性化、普通科と農業科(園芸クリエイト科)の併設校である強みを生かした

地域との交流活動やボランティア活動など、積極的に展開して参ります。

また、来年度は、いよいよ創立百周年を迎え、「学校の魅力化」を後押ししてくれると期待しています。

誠実であれ、できることを 精一杯頑張ろう

同志社大学名誉教授

田坂 明 政 (南口回卒)



昭和三十五年の卒業です。京都大学入学後、大学院博士課程まで進学しました。工学博士の学位を取得後、ドイツのゲッティンゲン大学に二年間留学し、帰国後の昭和四十八年に同志社大学工学部に赴任しました。

思い出に残る、魅力のある一年にしたいと思えますので、越南会の皆様におかれましては、格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

同志社大学の校風は自由であり、他人に寛容であることを教える新島精神の下で、三十九年間にわたって教育研究に謹んでまいりました。今年の五月に瑞宝中綬章の荣誉ある勲章を受章しましたが、それは周りの皆様方のおかげだと感謝しています。

今治南校は運動クラブが活発で県内外で活躍しております。昔からボートは強いですが、高校野球やサッカーなどは愛媛県勢を応援しています。今治南高が出れば、なおさらです。

座右の銘は「誠実であれ」です。学生さん達には、何

事にも自分のできる精一杯を努力することを教えています。勉強ができれば能力があると思われがちですが、それは人間の能力の一つです。運動なり、芸術なり、手仕事なり、商売なり、誰にでも何かの能力があります。それに気づいてその特徴を大切に、自信をもって下さい。好きなことを職業に持つことができれば、それ以上の幸せはありません。

以前、今治南高創立七十六周年のおり、クラスメートであった吉田満智子先生のお世話で講演をしました。そのときの内容と同じですが、生徒さんには、「皆さんは若い。若いことだけで素晴らしい。若さということ、バイタリティーに溢れ、チャレンジ精神一杯の時代です。失敗を恐れず、やりたいと思うことに取り組んで、自分の特徴を生かす道を見つけて下さい。たとえ、失敗しても、やり直せばよいのです。」とお伝えしたい。自分の一度きりの人生を精一杯頑張ってください。



越南会関西支部近況

関西支部会長 山田 惣 吾 (南24回卒)



越南会会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

また、日頃より越南会本部、山本会長はじめ役員、事務局、本校の教諭の方々には関西支部への多大な御支援、御厚情を戴き感謝しています。

さて関西支部におきましては、昨年十月二十二日の総会に於いて、不肖私、山田惣吾 (S48年卒) が会員皆様の総意の下、関西支部

会長に就任し今日に至っております。何分若輩で微力ではありますが、来年度本校の創立百周年事業に向けて何らかの御協力が出来ればと思っております。

今年の関西支部の行事としましては、三月三十日に大阪キャッスルホテル錦城閣にて本部の方々の御支援も戴いて観桜会を総勢十八名で開催させて頂きました。参加者の皆様からはコロナ禍以来久々の行事で年齢層を超えての交流、歓談し、また今治の近況等の話題で大いに楽しめたと好評でした。残念ながら、大川沿いの今年の桜はチラホラ咲きでしたが、来年も観桜会開催要望を頂きました。

学校から
生徒会長
「私の学校生活」
三年六組 宮道 汰生
私は、現在、積極的にたくさんの方に挑戦しています。まず、生徒会活動です。今年生徒

今後の他の行事に關しましては未定ですが、新規会員の増強の為にも本校との交流、支援、皆様が楽しめる行事を計画して多くの御参加をお願いしたいと思います。

関西支部の会員の方々も高齢化で行事参加や会運営にも支障が出てきており、新規会員の増強が急務です。本部会員の方々に、当会は肩肘のはらない友好的なアットホームな会ですので、本校卒業生のお知り合いの関西在住の方々への入会推薦をして頂き、フレッシュ会員を増やしたいと思っておりますので、御協力を宜しく願います。

最後に、関西支部に長年に渡って多大な御尽力を戴いていた関西支部前幹事長石川正様が今年一月三日に薬効むなしく永眠されました。ここに御冥福をお祈り致します。合掌。

の練習や団員との意識統一を積極的に行い、さまざま場面で南高すべての応援団として活動しています。

農業学習では、農業クラブの各種行事に積極的に出場しています。先日は、フラワーデザイン競技において、事前講習会に参加し、また多くの先生方の助言をいただきながら大会に臨



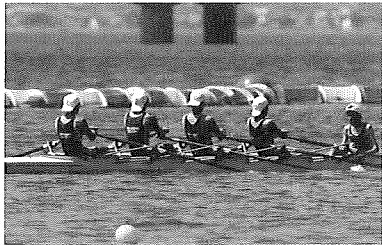
卓球部
 「最後の県総体」
 三年六組 宇瀬 壮志
 卓球部男子は、昨年行われた県新人大会の男子団体戦の一回戦で敗れ、悔しい思いをしましたが、五人という少人数でしたが、県新人大会での悔しさを忘れず、毎日コツコツと練習を重ねました。そしてこの春、新一年生を加えて練習に更に活気が

みました。五月二十八日の県大会では、優秀賞を受賞することができました。引き続き農業クラブの各種大会へチャレンジし、全国大会につながるようにしたいと考えています。
 全てが良い結果に終わるとは限りませんが、高校生活という短い期間で後悔のないよう、日々全力を尽くしたいと考えています。南高は、多くのことに挑戦できる環境が整っている素晴らしい学校です。私は、やるかやらないか迷ったときは、何でも挑戦していくということを motto に今後も頑張りたいと思っています。

ボート部
 「南高ボート部に出会えて」
 三年四組 安部 志
 今回の私がいるのは、南高ボート部のおかげだ。そんなことに気づいたのは最後の県総体が終わったところのことだった。

増し、充実した状態で東予総体に臨みました。団体戦では、昨年のベスト4の結果を超え、準優勝することができました。その勢いまま、先日行われた県総体でも接戦を制し、四国大会出場を決めることができました。また三位決定戦では、東予総体決勝で敗れた相手に打ち勝ち、リベンジを果たすこともできました。
 卓球部女子は、昨年の新人戦は人数不足のため、団体戦に出場することができない状況でした。しかし新一年生の加入もあり、東予総体ではベスト8、そして県総体では、ノーシードから第四シードと第五シードを倒し、快進撃でベスト4に入ることもできました。
 男女ともに団体戦で四国大会に出場できることを本当に嬉しく思います。そして男女関係なく、チームとして互いの試合を応援することができていたことも、今回の結果に繋がった要因だと思います。四国大会でも一つのチームとして互いを応援し、一回でも多く勝てるように全力を尽くします。そして、これまで支えてくださった方々への恩返しができたらと思います。

高校最後の県総体、全国への切符を賭け、今までの思いを全てぶつけレースに挑んだ。結果は二秒差で二位だった。レース後は何も考えられず、時間だけが過ぎていった。だが、私はその時仲間と、ここまで努力し続けて良かったと思った。全国大会出場を目指す中、部員やクルー内で衝突したりし、やめたと思う時が何度もあった。しかし、そんな自分でも信じてついてきてくれた後輩達。支えてくださった先生や先輩方そして両親がいたからこそ三年間続けられたことを気付くことができた。
 私は南高ボート部に所属して本当に良かった。ここでしか巡り会えなかった出会いや経験に感謝したい。そして、ここまで育ててくれた南高ボート部に恩返しができるようこれからも頑張っていきたい。



写真部
 「これからの私」
 二年五組 藤原 愛菜
 私が所属している今治南高校

写真部の活動はとても充実しています。個人で好きな写真を撮った後、部員全員でそれぞれ撮った写真をプロジェクトに投影して、毎日討論会をしています。いい写真を撮るためには撮影技術も必要ですが、コンクールや大会では自分の撮った写真を言語化できることが求められるので、表現力も鍛えています。そういった努力が実を結び、愛媛県高等学校総合文化祭写真部門で優秀賞を受賞することができ、私は全国大会に出場することができました。
 出品した作品は、屋上で女子高校生が手を繋いでいる写真です。空のグラデーションがとても美しく、半逆光で捉えて人物が少しシルエットになっていきます。モデルを引き受けてくれた同級生は、嫌な顔をせず何度もおかの要求に答えてくれました。そのおかげで秋風が感じられる躍動感溢れる写真になったと思います。
 そして、カメラの使い方を分かりやすく、細かくアドバイスをしてくださった安野先生や先輩方、部員に感謝しています。これからも今の部員の皆と共にたくさん賞をとれるよう、技術力と表現力をさらに磨いて頑張りたいです。



写真部の活動はとても充実しています。個人で好きな写真を撮った後、部員全員でそれぞれ撮った写真をプロジェクトに投影して、毎日討論会をしています。いい写真を撮るためには撮影技術も必要ですが、コンクールや大会では自分の撮った写真を言語化できることが求められるので、表現力も鍛えています。そういった努力が実を結び、愛媛県高等学校総合文化祭写真部門で優秀賞を受賞することができ、私は全国大会に出場することができました。
 出品した作品は、屋上で女子高校生が手を繋いでいる写真です。空のグラデーションがとても美しく、半逆光で捉えて人物が少しシルエットになっていきます。モデルを引き受けてくれた同級生は、嫌な顔をせず何度もおかの要求に答えてくれました。そのおかげで秋風が感じられる躍動感溢れる写真になったと思います。
 そして、カメラの使い方を分かりやすく、細かくアドバイスをしてくださった安野先生や先輩方、部員に感謝しています。これからも今の部員の皆と共にたくさん賞をとれるよう、技術力と表現力をさらに磨いて頑張りたいです。

部活動報告
 令和五年六月～六年三月

四国大会

- ・陸上競技部
 - 【第76回四国高等学校陸上競技対校選手権大会】
 - 女子 ハンマー投 渡邊 第7位 決勝
 - 女子 走高跳 小田 出場
 - 【第25回四国高等学校新人陸上競技選手権大会】
 - 女子 走高跳 小田 第7位 決勝

- ・卓球部
 - 【第76回四国高等学校卓球選手権大会】
 - 男子ダブルス 長野・川元 出場
 - 男子シングルス 川元 出場

- ・ボート部
 - 【第32回四国高等学校選手権大会】
 - 女子舵手付きクオドルプル 5名 2位
 - 女子総合 5名 4位
 - 【特別国民体育大会第44回四国ブロック大会】
 - 少年女子舵手付きクオドルプル 愛媛選抜 貴田 1位
 - 【第35回愛媛県高等学校新人大会兼全国大会四国予選】
 - 男子舵手付きクオドルプル 5名 4位
 - 男子シングルスカル 阿部・宮道・菅 準決勝
 - 女子ダブルスカル 貴田・池本 3位
 - 女子シングルスカル 矢部・玉井 5位

- ・空手道部
 - 【第31回四国高等学校空手道選手権大会】
 - 準決勝

全国大会

- ・卓球部
 - 【令和5年度全国高等学校選抜卓球大会】
 - 男子シングルス 川元 出場
 - 【第34回全国高等学校選抜ボート大会】
 - 女子舵手付きクオドルプル 5名 7位
 - 【第74回朝日レガッタ】
 - 男子舵手付きクオドルプル 5名 準決勝
 - 男子シングルスカル 宮道 準決勝
 - 女子舵手付きクオドルプル 5名 3位
 - 女子ダブルスカル 中本・大西 準決勝
 - 【令和5年度全国高等学校総合体育大会】
 - 女子舵手付きクオドルプル 5名 準優勝
 - 【特別国民体育大会】
 - 少年女子舵手付きクオドルプル 愛媛選抜 貴田 3位

- ・空手道部
 - 【第50回全国高等学校空手道選手権大会】
 - 女子個人組手 山岡 出場
 - 【第51回全日本空手道選手権大会】
 - 女子団体組手 山岡 出場
 - ・写真部
 - 【第45回よみうり写真大賞】
 - 中高生フォト部門 尾田旭信 佳作
 - 【日本のみりよくフォトコンテスト】
 - 尾田旭信 優秀賞

恩師をたずねて No.5

松岡 寛さん

(在職期間S40年4月) 52年3月社会科)

三十代の十二年間勤務、先生方、生徒の皆さんもおおらかで、想い出深い、私にとっては楽しい南高の日々でした。

昭和四十二年、南高夏の甲子園出場、一回戦勝利、あの甲子園で南高の校旗が翻り「はるかに望む石鎚の・・・」校歌が流れ、応援の生徒と大声で歌った感激は忘れ難い。今も夏の高校野球のシーズンになると瞬時にしてあの時の感動がよみがえります。今は九十を過ぎましたが、まだ禅寺の住職として現役。



当時の南高の卒業の方々は、時折、飲食を共にし、往時を懐かしんでいます。

令和7年創立百周年を迎えます

【創立の恩人①】

曾我部 右吉翁



百年の歴史を辿る

「お世話になった人びとへの感謝。ありがたいということを、みんな忘れてくださるナ。ある時は桜井の海岸に、また山に、ある時は別宮南光坊の境内で、郷土民挙げての煙害(今でいう公害)との闘い、その汗と泥の結果が、この学校である。制服百名のみんなには、本校創立のため泥まみれの努力を積み重ねた幾百

幾千人の先輩がいる。今日のこの喜びを見ずして世を去った人もいる。この人びとへの感謝を忘れてくれるナ。重ねて申しあげます。」 1926年、今治南高等学校の前身である越智中学校創立記念式で、来賓祝辞を述べた一人の翁が訴えたものだ。初代同窓会長を52年務めた赤穂義夫は、越智中学の一期生として入学式に臨んでいた。この迫力ある翁が強く印象に残っている

るとたびたび語り、私達同窓生に脈々と伝承されてきた。その翁が曾我部右吉、右吉の二大功績が煙害解決と治山治水だ。

煙害については、住友伊庭貞剛による精錬所四阪島移転等の企業努力が解決に導いたのももちろんだが、17年にも及ぶ煙害交渉が動き始めたのは、1910年東京での煙害賠償協定締結からだ。愛媛県知事伊沢多喜男が果たした功績の大きさとともに、農民代表として臨んだ右吉は優れた地域のリーダーであった。煙害の賠償金を農民に分配せず、未来を担う地域教育に託され越智中学校が誕生、戦後に今治南高校と改称され現在に至る。もうひとつの大きな功績

令和5年度 越南会会計 決算報告 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入総額 (5,390,192), 支出総額 (3,380,010), 差引残額 (2,010,182)

Table for Income (収入) with columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引残額, 備考

Table for Expenses (支出) with columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引残額, 備考

☆ 周年事業積立金

Table for Anniversary Fund with 2 columns: 周年事業積立金 (4,237,103)

編集後記



越南会だより第7号をお届けいたします。発行にあたり、執筆等多くの皆様に御協力をいただきました大変有難うございました。お礼を申し上げます。 越南会

が実施され、越智今治森林組合のご厚意により、今治南高生が学び、先人の思いを受け継いでいる。

が治山。明治になり山々が国有地になるところを、桜井村長として他の13の町村と共に交渉を重ね、ついに全国でもまれな共有山を獲得。伊沢知事の紹介状を手吉野の山林王、土倉庄三郎に教えを請う。吉野に苗木を求め植林、そして治山の重要性を唱えて愛媛県林業の基礎を築く。吉野の美林の雄大さをまぶたに右吉は、共有山(現在は越智今治森林組合)の組合長として28年間共有山経営に努めた。桜井綱敷天満宮境内に右吉の胸像が、市内数か

所に頌徳碑が立つ。県人でも初めて黄綬褒章を受章。今から6年前の西日本豪雨、蒼社川一帯で避難勧告が出た被災の可能性が高まったことは記憶に新しい。幸い蒼社川は氾濫せず、被害は少なかったが、これは、共有山から繋ぎ続く蒼社川上流の治山治水が大きな役割を果たしたと言える。また、公共施設建設等では、計り知れない多くの木の恵みを今治は享受してきた。 令和4年より愛媛県森林林業課の「職業体験研修」